

津波避難施設住民説明会議事概要（1月9日）

日時 2023年1月9日（月・祝） 14：00～

場所 片瀬市民センター 2階ホール

藤沢市

12月議会定例会において、議会に報告済みのものを説明させていただきます。なお、今までの町内会及び説明会での意見を反映させて、議会にて報告しました。

藤沢市

資料説明

質疑

市民

全てが中途半端である。地元とも対話をしない。データ等を明示しない。かつては、10mの高さに避難しろと言っていた。大川小学校の事例を見れば、予想外の津波が襲来し、県も市も裁判に負けている。

住民が危険にさらされている。神奈川県や藤沢市は信用できない。

今回示された根拠資料も、なぜ最初から提示してくれなかったのか。言葉で説明されても、こちらは理解できない。

藤沢市は、話しやすい自治会長などに話をして、こちらの意見を聞く場を設けていない。

津波避難施設にカギなんて設置する必要がない。有事の際は、誰が開けるのか。

避難床はもっと高くないのか。

藤沢市

購入した用地には、10m以上は建設できない。

国が示した安全な高さは、基準水位3.4m以上であり、更に藤沢市で漂流物などを考慮し、3.6mを加えて、避難床を7.0mに設定した。この高さであれば、全員が安全な高さまで避難がすることが可能である。

避難床を8.0mに設定すると、日影の関係で避難床が縮小され、全員が避難することは出来ず、5.0mのところにも、避難床を設ける必要が生じ、約110名が、避難するようになってしまう。

市民

その辺の資料も提示するべきだ。また市民と一緒に考える必要があり、津波避難施設を造りました。後は知りませんでは困る。みんな津波のテレビ中継を見てイメージを持っている。

藤沢市

高さ 10m にすると、西側と北側から面積が減少する。その結果、10m で 381 人、7m 以下のところで、349 人となり、9 名程不足することになる。

市民

とりあえず、10m の津波避難施設を造っておけばいいのではないか。

収容可能な人数は、後から考えれば良いのではないか。まずは、逃げる場所を確保するのが、大事なのではないか。一人あたり、0.6 m²で考えているようだが、一時的には、鮎詰めになることは構わない。

下藤が谷ポンプ場への避難施設をやめた説明を教えて欲しい。

津波避難施設が 2 箇所になれば避難方法の幅が、広がるのではないか。

藤沢市

片瀬海岸三丁目に津波避難施設を造るために、一人当たりの面積 0.6 m²を定めた訳ではない。色々な考え方があるが、市内統一の数値として、定めている。

高く設置して欲しい気持ちも理解できるが、高くすれば、避難床にたどりつくにも時間を要する。1m/s を歩く速度と仮定すれば、7m の高さであれば、何とか津波到達までに、避難が可能となっている。

市民

津波が、予測を超えてくることを想定していない。これでは、住民の安心感には繋がらない。

藤沢市

11/3 の説明会で、基準水位の説明はさせて頂き、理解を得たと考えている。

基準水位は国が考え方を示して、神奈川県が令和 3 年 3 月に指定をした。この考え方を、全国的に採用している。

今回の説明会では、既に藤沢市議会に説明させて頂いている。また議会前にも市長及び副市長にも説明している。

どれだけの費用がかかるのかは、不明であるが令和7年度に完成予定である。

市民

議会や役員会を優先し過ぎる。今までのアプローチがおかしい。

藤沢市

今回説明させて頂いている基本構想は、町内会等の意見を取りまとめて、つくり込んできた。

市民

住民の意見を取り入れて、高くしてあげられないのか。

下藤が谷ポンプ場への津波避難施設の設置の件は、再考できないのか。

藤沢市

下藤が谷ポンプ場への津波避難施設設置は、無くなった訳でない。

公共施設再整備計画の中で、ハザードエリアに含まれている公共施設については、その対策は検討される。鵜沼市民センターの建替えの際も津波対策を検討する。

しかし、下藤が谷ポンプ場は、具体的なスケジュールは決まっていない。

市民

10mで整備することは出来ないのか。想定外の津波が来た場合に、避難が可能なようにして欲しい。

市民

スロープの幅はいくつか。津波避難施設では、2.4m必要だと思う。どこか参考にしたところはあるのか。

市民

バリアフリー法に基づき、2mで考えている。車椅子と人が、渋滞しないように考慮している。

市民

東北地方のものを参考にして欲しい。

市民

避難床を 10m にして欲しいとの声があるが、フェンスを含めての高さになるので、1.2m のフェンス高さを考慮して、設定しなければならないことを考慮しないとイケない。

市民

この説明資料の図面を修正するつもりはあるのか。

藤沢市

基本構想としては、既に完了しているので、変えることは出来ない。しかし、今後基本設計を進めるなかで、変更できる部分はある。

市民

満員電車では、概ね 0.3 人/m²となっている。

工事はどれくらいかかるのか。億までは掛からないと思うが。

藤沢市

藤沢市では避難スペースは、0.6 人/m²で定めている。

静岡の施設で、1～2 億円、高知で 3～5 億円の建設費が掛かっている。

市民

国などからの補助金はあるのか。

藤沢市

国の補助金の交付対象は、事業費の 1 / 2 であり、基準水位の 3.4m までの避難床までは対象となる。それ以上は、今後国と協議していくが、藤沢市が負担することになる可能性が高い。

市民

鵜沼市民センターで、2 億円の予算を計上しましたよね。

藤沢市

物価の高騰もあり、また住宅地での工事にもなるので、海岸や公園などに建設するのと違い更なるコスト上昇の要素が多いのは間違がない。

今後、財政部門や、議会説明をして、費用についても算出していく。

市民

下藤が谷ポンプ場への津波避難施設の設置を中断した際には、どのような周知を図ったのか。

藤沢市

候補地の変更については、買取の申し出があった人の他に、用地を提供してくれる人がいないかなど、住民への投げかけをしたが、その周知については、全戸配布や回覧で、数回周知している。

結果として、多くの人が避難可能な、本地に津波避難施設を建設することにした。

市民

当初、下藤が谷ポンプ場に計画した高さは、何mだったか。

※参考 G.L.から 3F 9.250m 2F 6.550m

藤沢市

当初、3層だったが、実施設計段階で2層になったと思う。

市民

太陽光発電など、電源供給はするのか。

境川の堤防は、津波の際には耐えられないとのことなので、その強化を神奈川県に働きかけて欲しい。

藤沢市

太陽光パネルを設置すると、建築上屋根と判断されてしまう。そのため、建ぺい率や、面積に影響してしまいます。

小規模のものは、検討している。

市民

10mまでの高さにした場合のものを、図面で示して欲しい。

市民

今後のスケジュールについて教えて欲しい。

藤沢市

基本設計及び詳細設計は、令和6年2月までに完了する予定である。そのう

ち、本来住宅地に建てられない津波避難施設を建築するので、建築基準法 48 条の手続きが必要になり、そこに 8 カ月を要する。

工事施工は、令和 6 年度から行い、令和 7 年度中に完了見込みである。

市民

今回は、仕方がないが、今後、命に係る施設を造る場合には、住民参加ができるようにして進めて欲しい。

このようなやり方では、時間の無駄であるし、市が勝手に進めている印象を受ける。お互いの思惑のすれ違いがある。検討会議形式にして欲しい。